

牛久：学校周辺に見る自然

第43号 ひたち野うしく小

2020年11月25日発行

＜ 秋のみずべ公園 ～②ハチ・アリのなかま ＞

ひたち野うしく小4年生と歩いた秋のみずべ公園、今回はハチやアリのなかまです。



ムモンホソアシナガバチと、その巣（上）。

雨の日には、巣はからっぽ（下左）。

はなれたところにハチがいました（下右）。

ゆうぐの近くに、大きなハチの巣があり、たくさんのハチが集まっていました。ムモンホソアシナガバチです。山の方でよく見られるようですが、みずべ公園でも毎年見かけます。巣はまだ作り始めのようで、卵なども見当たりません。2日後の木曜には雨が降りましたが、巣には1匹もいなくて、ややはなれたコナラの枝で1匹見つけました。アシナガバチのなかまは女王1匹だけで越冬するものが多いようですが、このハチは木のうろなどで、集団で冬を越すそうです。

スズメバチもいました。コガタスズメバチです。名前の割に小さくはありませんし、パッと見るとオオスズメバチに似ています。

エサを探す、コガタスズメバチ。





カタバミの蜜を吸うヒメハラナガツチバチのおす（左）と、小さなハナバチ（右）。

カタバミの花で、蜜を吸っているハチがいました。腹が長くて触角も長い、胸の背中側に目と口のようなものがある、ヒメハラナガツチバチのおすです。メスには顔のようなものはなく、触角もあまり長くはありません。近くでは、カタバミの花よりもっと小さなハナバチも蜜を吸っていました。



その他、キボシアシナガバチのからっぽの巣、ハバチの幼虫2種類、コマユバチのまゆなども見つけてくれました。みなさん、目がいいですね。冬の観察も、期待していますよ。

【理科支援員：宮内】

キボシアシナガバチの巣(上)。

ハグロハバチ(中左)とサクラセグロハバチの幼虫(中右)。

サムライコマユバチのなかまのまゆ(左下)。

